

株主のみなさまへ



© FW & Co. 2003



スーパーセシオ
SECIO

第77期事業報告書

蛇の目ミシン工業株式会社

株主のみなさまへ



株主のみなさまには、ますますご清栄のことと喜び申しあげます。

また日頃より暖かいご支援を賜り厚くお礼申しあげます。

ここに第77期（平成14年4月1日から平成15年3月31日まで）の営業の概況をご報告申しあげます。

営業の概況

当期のわが国経済を概観いたしますと、景気は一部に回復の動きが見られるものの、弱含みで推移し、設備投資に本格回復の兆しはなく、個人消費も減速傾向にあります。こうした情勢を反映して、株式市場は下落傾向のまま歯止めがかからず、失業率も高水準で推移するなど、国内経済全般は厳しい状況が続いております。

また、景気の後導役である米国経済は、イラク情勢とも相俟って、回復力が弱まっており、世界経済の不透明感につながっております。このため、主要国の消費者心理も悪化する懸念が出ており、先行き不安感が一層加速しております。

このような状況下での、当社第77期の営業についてご報告申しあげます。

まず、部門別に営業の経過を、ご報告申しあげます。

<ミシン>

海外ミシン販売につきましては、主力市場である米国において、シアーズ・ローバック社向けに「ジャノメ」ブランドのミシン供給を開始し、最高級コンピュータミシンの販売に力を入れたことなどから、北米向け販売台数は前期比約10%増と順調に推移いたしました。

欧州では、ドイツの消費者向け雑誌で最上級の評価にあたる“GUT”（英語のGOOD）に認定される等当社ミシンの性能、品質などが高く評価されたことと、新規販売ルートでの積極的な開拓や販売子会社の本格的な稼働により、販売台数は前期比約27%増と好調に推移いたしました。

また、オセアニア地域でも、コンピュータミシンの販売セミナーを開催する等の販売促進策を実施したことから、大きくシェアを拡大いたしました。

以上の結果、海外販売台数は3期連続して過去最高の142万台余り（前期比15.0%増）を記録し、海外ミシン部門の売上高は、195億3千1百万円（前期比19億5千1百万円増）となりました。

国内販売のうち、直営支店販売では、店舗移転や地区編成の一部変更を行なう等効率的で収益性を重視した支店運営に意を用いました。また、人間工学に基づいてデザイン

されたコンピュータミシンを新たに投入し、コンピュータミシン購買層の拡大を図りました。

一方、代理店向け販売では、代理店向け製品のラインアップの充実を図り、コンピュータミシンの販売は堅調に推移し、販売台数はほぼ前期並みとなりましたものの、全体として低価格帯商品へのシフトをした結果、売上高は前期を下回りました。

この結果、国内ミシン売上高は、102億7千万円(前期比9億3千9百万円減)となりました。

以上、当期における国内外のミシン販売台数は、海外販売台数の増加が大きく寄与して、過去最高の約163万台(前期比12.3%増)となり、**ミシン売上高は、298億2百万円**(前期比10億1千2百万円増)の計上となりました。

<24時間風呂・整水器>

24時間風呂につきましては、積極的な販売活動を通じて市場の活性化に努めるとともに、新たな販売ルートの開拓にも注力いたしました。この結果、販売台数はほぼ前期並みとなりましたが、販売単価の下落により売上高は前期を下回りました。

また、アルカリイオン整水器につきましては、当社製品に対する認知度が徐々に浸透し、営業面での前向きな取り組みが効を奏し、前期を上回る売上となりました。

以上により、**24時間風呂・整水器の売上高は、29億2千3百万円**(前期比1億5千5百万円減)の計上となりました。

<産業機器・その他>

産業機器分野のうち、卓上ロボット、エレクトロプレスにつきましては、外部展示会への出展、代理店向けセミナーの開催など効果的な販売促進活動を展開いたしました。また、技術研究所内に産業技術研修センターを開設し、製品の展示、デモンストレーションを行なうことにより、代理店・取引先との関係強化を図りました。

特に、海外でのセミナー開催が好評を博し、海外向け販売は好調に推移いたしました。

その他の製品につきましても、買い替え需要を狙った営業活動を行なうとともに、既存代理店の強化に注力いたしました。

以上、**産業機器部門、並びにその他国内外の売上高は、69億3百万円**の計上となりましたが、ジャノメダイカスト(株)分社化に伴う産業機器の売上高(前期10億2千2百万円)が減少したことにより、前期比では8億9千8百万円減となりました。

<生産・開発>

当期のミシン生産台数につきましては、東京工場、台湾・ジャノメミシン(株)およびタイ・ジャノメ(株)を合わせて、165万台余りに達し、家庭用ミシンメーカーとしては世界最大の生産量を誇っております。

また、11月には、家庭用ミシンの生産累計4,000万台を達成するなど、生産は好調に推移いたしました。

一方、原価低減を図るため、部品発注や製造ラインの見直しを行なうとともに、品質

管理の強化にも努めました。

開発面におきましては、人間工学に基づくデザインを取り入れたコンピュータミシンの開発に取り組むなど、ユーザーサイドに立って機能・操作性・品質を重視した製品の開発に意を用いました。

以上により、輸出売上高223億6千1百万円と国内売上高172億6千7百万円とを加えた**当期の総売上高は、396億2千9百万円**(前期比4千1百万円減)の計上となりました。

営業利益につきましては、販売費及び一般管理費の削減に努めました結果、**22億9千3百万円**(前期比3億4千9百万円増)となりましたが、**経常利益**につきましては、為替差損の計上等もあり、**19億5千9百万円**(前期比3億3千万円減)となりました。

また、**当期利益**につきましては、**9億2千4百万円**(前期比62億5千2百万円増)の計上となりました。

なお、株主のみなさまには誠に申し訳なく存じますが、当期の配当金は無配とさせていただきます。

不透明感が強まる経済情勢の中で、企業を取り巻く法律や会計制度等の改正が相次ぎ、企業経営は否応なしに変化に対応して、迅速な意思決定と業務執行を行なうことが求められています。

このような状況下、当社は、当期を初年度とする「新3ヵ年計画」を策定し、平成17年3月期には連結売上高営業利益率10%の達成を目標としており、この目標に向け鋭意企業努力を積み重ねております。お蔭様で、当期は、初年度の目標(目標8.2%、実績8.9%)を上回ることができました。

今後とも、当社は、グローバルな視点に立って、国内外の販売力の強化とコスト競争力のある生産体制の構築を図ってまいります。

特に、主力商品である家庭用ミシン分野におきましては、海外での一層の販売力の強化と、効率的で収益力の高い国内販売体制の確立を目指してまいります。また、他製品につきましては、「ジャノメ」ブランドを浸透すべく、積極的な販売活動に取り組み、シェアアップを図ってまいります。

生産・開発につきましては、市場のニーズに対応した製品開発のスピードアップに努め、国際生産体制の強みを生かしたコストダウンと生産性向上を推し進めてまいります。

また、収益力の向上により財務体質の改善・強化を図ると同時に、売上高の拡大をも視野に入れた経営を志向してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年6月

代表取締役社長

加藤 澄一

貸借対照表

(平成15年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	15,099	流動負債	40,409
現金預金	5,534	支払手形	1,282
受取手形	1,196	買掛金	3,362
売掛金	4,825	短期借入金	33,783
有価証券	314	未払金	39
製品及び商品	1,135	未払法人税等	111
原材料	614	未払費用	811
仕掛品	262	月掛予約前受金	420
貯蔵品	94	預り金	129
前払費用	195	賞与引当金	381
繰延税金資産	268	その他の流動負債	87
短期貸付金	545		
その他の流動資産	207	固定負債	11,948
貸倒引当金	△94	長期借入金	4,240
		再評価に係る繰延税金負債	3,960
固定資産	47,347	退職給付引当金	2,681
有形固定資産	20,632	役員退職慰労引当金	273
建物及び造作物	3,983	未払功労金	614
構築物	63	預り保証金	178
機械装置	82		
車輜運搬具	2	負債合計	52,358
工具器具及び備品	433	(資本の部)	
土地	16,060	資本金	7,623
建設仮勘定	5	資本剰余金	1,694
		資本準備金	1,694
無形固定資産	542	利益剰余金	△4,365
借地借家権	457	当期末処理損失	4,365
その他の無形固定資産	85	(うち当期利益)	(924)
		土地再評価差額金	5,772
投資等	26,171	株式等評価差額金	△634
投資有価証券	7,478	自己株式	△1
子会社株式・出資金	3,163		
長期貸付金	422	資本合計	10,088
和議債権等	30,000	負債及び資本合計	62,446
長期売掛債権	144		
長期差入保証金	469		
繰延税金資産	5,192		
その他の投資等	464		
貸倒引当金	△21,163		
資産合計	62,446		

(注) 1. 有形固定資産減価償却累計額 11,070百万円
 2. 資本の欠損の額 4,366百万円
 3. 1株当たり当期利益 6円6銭

損益計算書

(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

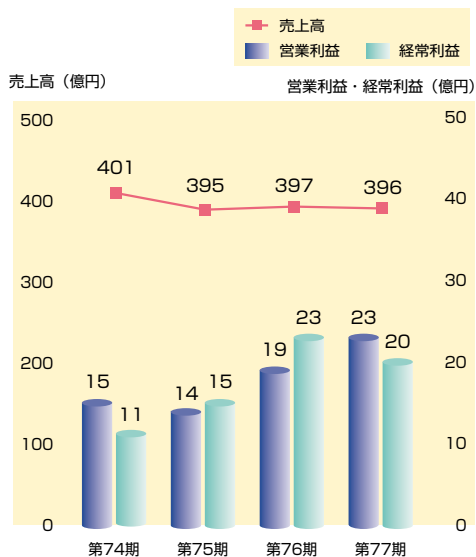
		科 目		金 額	
		百万円	百万円		
経常 損益 の部	営業収益		39,629		
	営業費用	25,545			
	営業利益	11,790	37,335		
	営業外収益				
営業外 損益 の部	営業外収益	26			
	営業外費用	13			
		714	820		
		66			
		824			
		262			
		68	1,154		
			1,959		
特別 損益 の部	特別利益	0	0		
	特別損失	166			
	特別損失	128			
		62			
		31			
		7	398		
税法 法人 当期 損益 の部	引当金		1,562		
	前住税		196		
	当期繰越		441		
	当期繰越		924		
			5,328		
			38		
			4,365		

損失処理

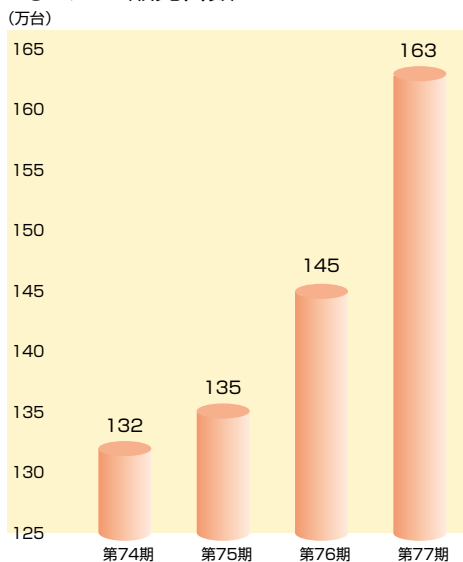
科 目	金 額
当期未処理損失	4,365,738,455 円
これを次の如く処理いたします。	
次期繰越損失	4,365,738,455

単独決算概要

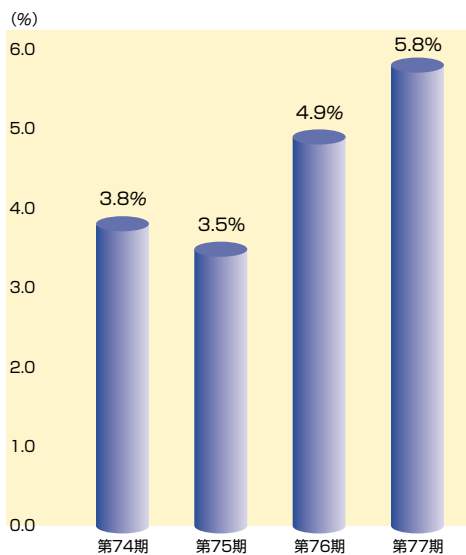
●売上高・営業利益・経常利益



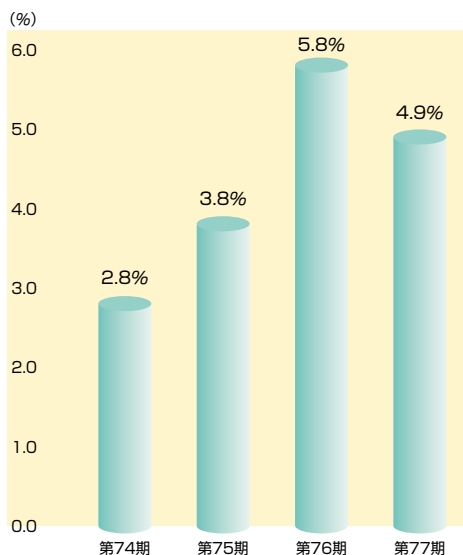
●ミシン販売台数



●売上高営業利益率



●売上高経常利益率



連結貸借対照表

(平成15年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)	百万円	(負 債 の 部)	百万円
流 動 資 産	22,493	流 動 負 債	43,325
現 金 預 金	6,531	支払手形及び買掛金	3,857
受取手形及び売掛金	7,488	短 期 借 入 金	35,888
有 価 証 券	314	未 払 法 人 税 等	445
た な 卸 資 産	6,818	賞 与 引 当 金	575
繰 延 税 金 資 産	824	そ の 他	2,559
そ の 他	733	固 定 負 債	13,125
貸 倒 引 当 金	△216	長 期 借 入 金	4,467
固 定 資 産	47,854	退 職 給 付 引 当 金	3,906
有 形 固 定 資 産	23,362	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	3,960
建 物 及 び 構 築 物	4,955	そ の 他	790
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	939	負 債 合 計	56,450
土 地	16,439	(少 数 株 主 持 分)	
建 設 仮 勘 定	19	少 数 株 主 持 分	445
そ の 他	1,007	(資 本 の 部)	
無 形 固 定 資 産	608	資 本 金	7,623
投 資 其 他 の 資 産	23,883	資 本 剰 余 金	1,694
投 資 有 価 証 券	7,943	利 益 剰 余 金	195
和 議 債 権 等	30,000	土 地 再 評 価 差 額 金	5,772
繰 延 税 金 資 産	5,523	其 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△645
そ の 他	1,579	為 替 換 算 調 整 勘 定	△1,185
貸 倒 引 当 金	△21,162	自 己 株 式	△1
資 産 合 計	70,348	資 本 合 計	13,452
		負 債 、 少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	70,348

連結損益計算書

(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

		科目		金額	
		百万円	百万円		
経常損益の部	営業収益		47,897		
	営業費用	22,637		43,637	
	営業利益	21,000		4,259	
	営業外収益	44		340	
	営業外費用	132			
特別損益の部	特別利益	163			
	特別損失	922			
	税金等調整前当期純利益	187			
	法人税、住民税及び市町村民税、法人住民税、教育税、復興特別税、消費税、酒税、たばこ税、契税法上の土地建物税、相続税、特別徴収税	14			
	当期純利益	128		1,253	
	経常利益			3,346	
特別損益の部	特別利益	30			
	特別損失	0		30	
	特別利益	172			
	特別損失	130			
	特別利益	64			
	特別損失	31			
	特別利益	14			
	特別損失			414	
	税金等調整前当期純利益			2,963	
	法人税、住民税及び市町村民税、法人住民税、教育税、復興特別税、消費税、酒税、たばこ税、契税法上の土地建物税、相続税、特別徴収税			888	
	当期純利益			282	
	当期純利益			127	
	当期純利益			1,665	

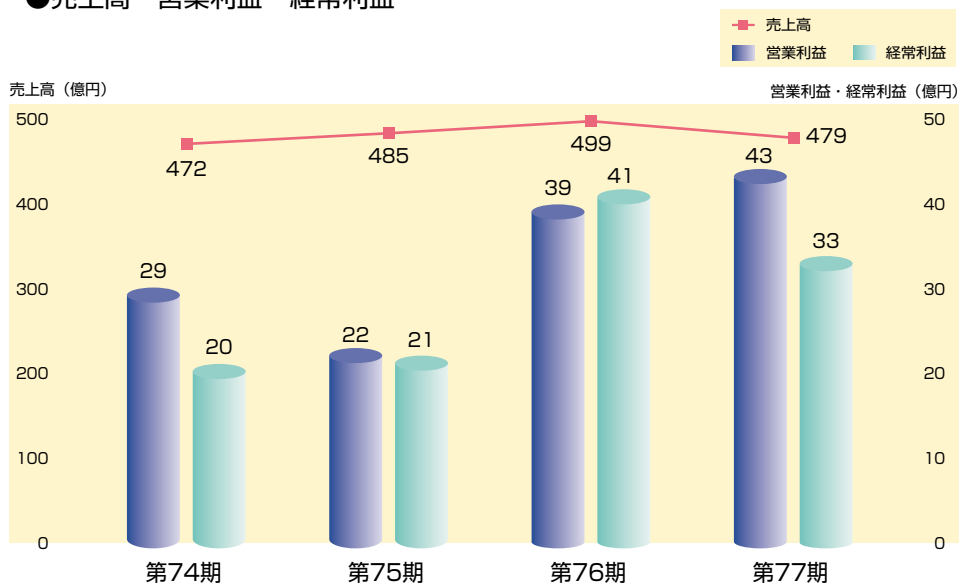
連結キャッシュ・フロー

(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

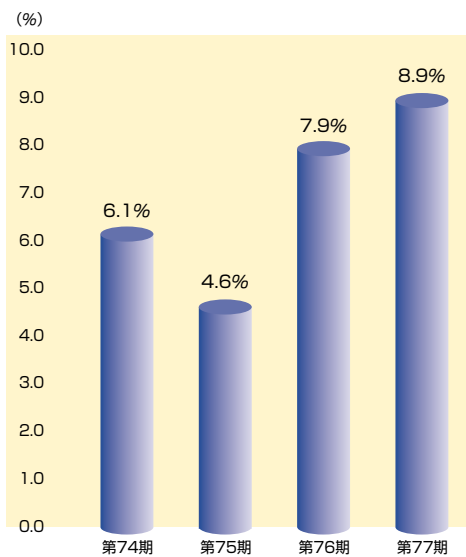
科目	金額
	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,826
投資活動によるキャッシュ・フロー	△991
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,717
現金及び現金同等物に係る換算差額	△79
現金及び現金同等物の増減額	38
現金及び現金同等物の期首残高	6,213
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	90
現金及び現金同等物の期末残高	6,341

連結決算概要

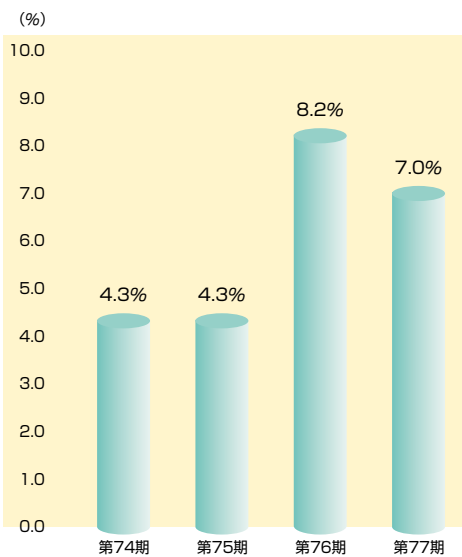
●売上高・営業利益・経常利益



●売上高営業利益率



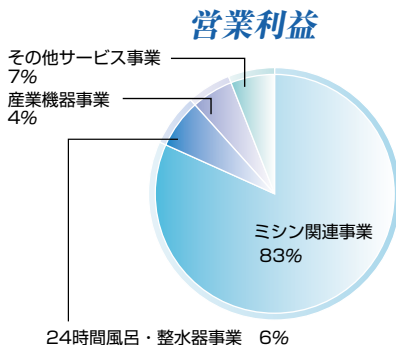
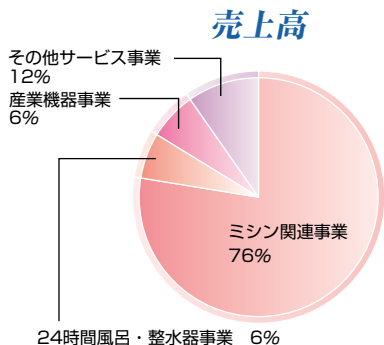
●売上高経常利益率



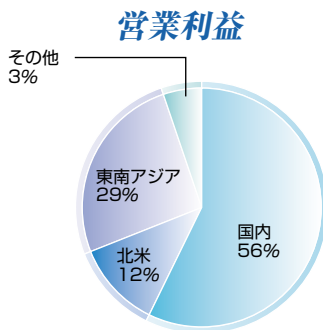
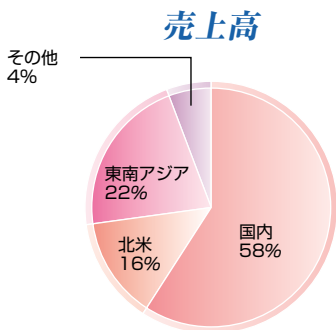
連結セグメント情報

(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

● 事業の種類別セグメント



● 所在地別セグメント



(注) 所在地別セグメントにおける売上高の比率は、セグメント間の内部売上高（又は振替高）を含んだ割合を表示しております。

株式の状況

(平成15年3月31日現在)

発行する株式の総数	360,000,000株
発行済株式総数	152,460,000株
当期末株主数	13,012名

● 株主構成比率（所有株式数ベース）



製品のご案内

ミシン

人間工学から、新しいミシンが生まれました。
はじめて体験する、やさしい使い心地です。

新発売



毎日使ってほしいから、
こんなにやさしいカタチになりました。
ソーイングがますます楽しい、
新しいセシオです。

SECI
DX

24時間風呂



家庭用屋内設置型

湯名人スーパーZ

細菌の繁殖を防止する **トリプルセーフティ**



- 1 連続ダブル制菌管**
24時間連続して照射する紫外線とオゾン（本体内部処理）、ダブルパワーの制菌管が細菌の繁殖防止に効果を発揮します。
- 2 自動熱洗浄**
週に一度、最高70℃のお湯で40～60分間、自動的に本体内部を洗浄。
- 3 抗菌ろ過材**
抗菌処理したろ過材を使用。高い制菌効果を保ちながら、お湯の中の見えない汚れまでろ過します。

アルカリイオン整水器

新発売



湧銘水スーパーII

多孔質平膜フィルターなどで、鉛もまとめて強力浄化。



JRシリーズ卓上ロボット

高性能化の追求

高剛性構造で高精度
異物混入防止ラビリンス構造
振動の少ないなめらかな動き
豊富なインターフェース



JR2200mini

低価格化の追求

ローコストなセル生産方式の実現を可能に。

コンパクト化の追求

ワークサイズに対応できるL型構造を採用し、コンパクト化を実現。

作業効率アップの追求

当社独自のティーチングシステムを採用し、複雑なプログラミングを必要としません。

クリーンエレクトロプレス



クリーンルーム 対応機種

プレス分野で世界初！
クリーン度クラス10
(0.3 μ m) 対応

特長

- 気密性を高めた特殊構造を採用
- 外装はクリーンルーム対応の導電性特殊塗料を採用
- 摺動部は帯電防止性能を有する特殊ジャバラを採用
- ジャバラ内摺動部には、低発塵特殊グリースを採用
- クリーンルーム環境と一般環境と両方の使い分け機能を装備
- 露出するプレート及びネジ類はすべてステンレス製

Topics

●家庭用ミシン生産累計4,000万台達成

平成14年11月に、家庭用ミシンの生産累計4,000万台を達成いたしました。

当社の家庭用ミシンは、大正10年、国産初のミシンメーカーとしての創業以来、国内生産拠点であった小金井工場（当時）を経て、昭和44年4月には台湾・ジャノメミシン（株）、昭和63年9月にはタイ・ジャノメ（株）での海外生産も加わるなどして、現在の国内生産拠点である東京工場とともに、このたびの生産累計4,000万台の達成に至ったものです。



現在、当社では、東京工場で付加価値の高い刺しゅう機能付きコンピュータミシンを、台湾・ジャノメミシン（株）では中価格帯の電子ミシン、タイ・ジャノメ（株）では普及タイプのミシンをそれぞれ生産しており、生産体制の国際分業を確立しております。

これら3工場合わせての生産台数は、年間約165万台に達し、家庭用ミシンメーカーとしては世界最大の生産量を誇っています。

●蛇の目産業技術研修センター完成



(写真は展示室)

平成15年1月、当社技術研究所内に「蛇の目産業技術研修センター（Janome Training Center for Industrial Technology）」が完成し、開所式を行いました。

蛇の目産業技術研修センターは、展示室・セミナー室・装置調整室等を備えた当社産業機器事業における技術研修設備で、桌上ロボットやエレクトロプレス等のデモンストレーションが常時可能なほか、産業機器セミナーも随時開催しています。

また、海外からも多数の来訪を受け、実際の操作を交えながらの商談は好評を得ています。

株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
定 時 株 主 総 会	6月下旬
基 準 日	3月31日
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063)
(電話照会先)	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	電話 (03) 3323-7111 (代表)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
公 告 掲 載 新 聞	東京都において発行する日本経済新聞

お知らせ

商法改正に伴う株式のお取扱いについてのご案内

1. 株券失効制度について

株券を喪失された場合、公示催告による除権判決を受けて再発行手続を取らせていただいておりますが、商法改正により平成15年4月1日から株券は公示催告制度から除外され、新たに創設された株券失効制度による再発行手続となりました。お手續などの詳細につきましては、上記の名義書換代理人へお問い合わせください。

2. 単元未満株式の買増しについて

平成15年6月26日から、単元未満株式の買増制度を導入いたしましたので、当社の単元未満株式を有する株主様は、当社に対してその単元未満株式と併せて1単元の株式の数となるべき数の株式の買増し請求ができることとなりました。

なお、基準日(3月31日)および中間期日(9月30日)を含む各々それ以前の12営業日の間は受付を停止させていただくほか、当社が別途必要と認める場合、受付停止期間を設ける場合があります。受付停止期間を含めまして、お手續などの詳細につきましては、上記の名義書換代理人へお問い合わせください。

また、保管振替制度をご利用の株主様は、お取引証券会社あてご照会ください。

◎住所変更、名義書換請求、株券喪失登録手続、単元未満株式買取りおよび買増し請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

ジャンメミン

蛇の目マシン工業株式会社

東京都中央区京橋三丁目1番1号 TEL 03(3277)2071

ホームページアドレス <http://www.janome.co.jp>

